



しんちゃくとしょあんない

新着図書案内

2023.6

まつさかしょうぎ、うこうこうとしょかん
大阪商業高校図書館

6月になりました。

蒸し暑い日が続いていますが、体調に気をつけていきましょう！



すっかり大人になった私ですが、恥ずかしながら、できなかった19×19までの2ケタの暗算が、この本のおかげでできるようになりました。知っていると便利な「おみやげ算」の本です。

「小学生がたった1日で19×19までかんぺきに暗算できる本」小杉拓也著、ダイヤモンド社、2022

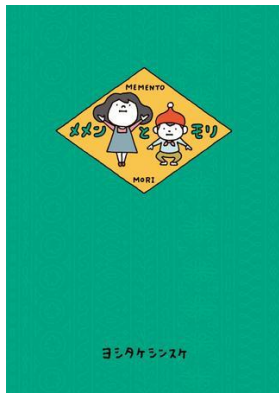


私たちの体は、食べたものでできています。だけど、日本の食には課題がたくさんあることを知っていますか。低い食料自給率、狭い場所で育つ家畜、栄養不足の野菜、価格優先の食品メーカーなど。この本では、今すぐにも取り組める、食の立て直しについても知ることができます。

「いちばん大切な食べもののお話」小泉武夫/井出留美著、筑摩書房、2022

しんちゃくとしょ 新着図書から

本の表紙画像は openBD&カーリルより



ヨシタケシンスケさんの最新刊は、絵本の形態をとっているけれど、「生きること」を考える哲学書のような一冊。高校生向きだと思います。

「メメントモリ」ヨシタケシンスケ著、KADOKAWA、2023

家族だから愛したんじゃない、愛したのが家族だった +かきたし

岸田奈美



驚きの連続にあふれた日々を、ユーモラスな関西弁でつづった、岸田さんの初エッセイの文庫化です。笑いあり、涙あり、そして愛がたくさん詰まった一冊。ここ最近読んだもののなかで、一番おすすめしたいエッセイです。

「家族だから愛したんじゃない、愛したのが家族だった+かきたし」岸田奈美著、小学館2023



野球に興味がある人はもちろん、ない人でも、読めば、心に響くところがある本だと思います。古典や経営者の著書から抜き出した言葉が随所に現れる「栗山ノート」は、私には読書ノートにも読めました。

「栗山ノート」栗山英樹著、光文社、2019



人は誰でも、生活する中で、困り事を抱える可能性があります。この本では、10代から40代の登場人物のエピソードを通して、社会保障制度を伝えていきます。知っておくと、人にも教えてあげることができます。

「15歳からの社会保障」横山北斗著、日本評論社、2022



「ビザ取得が楽らしい」という理由で、引っ越しを決めたフランスでの暮らしが、世界中から注目されている Mamiko さん。自然と自分に忠実な暮らし方は、写真を眺めているだけで楽しい♪

「GOROGORO KITCHEN 心満たされるパリの暮らし」「いとエモし。超訳 日本の美しい文学」井筒麻三子著、講談社、2023



学生時代、「古典が退屈。」と思っていた著者が、ある古典作品を読んで、「いとをかしたは、「まじエモイ。」だったのだ」(はじめにより)と気づく。そんな彼女が「エモさが爆発している」作品を紹介した古典文学選集。いまを生きる私たちの感覚に寄せた訳と、イラストが素敵です。

としょかんとくしゅう 図書館特集コーナー



修学旅行関連本 <北九州/長崎>

校内ビブリオバトルで紹介された本

